

**大村ロータリークラブ週報**

2022～2023年度　　No.14

令和 4年 10月 25日　発行

（通算例会　3029回）

会長　小又　三正　幹事　森　広康

回）

事務所：大村市東三城町１２－１（和光マンションＤ）<TEL:0957-42-6192/FAX>：0957-42-6193

例会場：長崎インターナショナルホテル　毎週火曜日　12：30～（但し　第4火曜日　於：梅ヶ枝荘・ゆの華亭）

2022年～23年度　国際ロータリーのテーマ

**『イマジンロータリー』**

RI会長　ジェニファー・ジョーンズ

2022年～23年度　大村ロータリークラブのテーマ

**『共に過ごす時間で親睦を深め、未来のロータリアンを育てよう』**

**会長の時間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　10月18日**

皆さん、こんにちは。

先週、出張で三重県へ行った際に、指定された時間までに現地へ到着しなければならない道中、当たり前の様に、定刻通りに運航する鉄道に感心すると共に、有難く感じている中で、１０月１４日は「鉄道の日」で、今年、開業１５０周年を迎えたことを知りました。明治５（1872）年１０月１４日、新橋と横浜を結ぶ日本初の鉄道が開通したことに由来します。

同年、明治政府は、明治５年を１２月２日で切り上げて、明治６（1873）年１月１日から新暦を採用し、この時に切り替えられたのは暦だけでなく、時間についても定時法を正式に採用しました。

それまで使われていた不定時法では、日の出から日没までを昼、日没から日の出までを夜として、それぞれを６等分して「一刻（いっとき）」とし、併せて12の時刻には十二支を充て、真夜中の「子（ね）」から始まり、正午に訪れるのが「午(うま)」なので、その前が「午前」、それ以後が「午後」となります。

しかし、昼と夜の時間がほぼ同じになるのは春分と秋分だけで、夏は昼が長く、冬は夜が長くなり、季節によって一刻（いっとき）の長さが変わってしまいます。逆に、一年中時間が変わらないのが今の定時法となります。

さて、鉄道が仮開業し動き出した当初、日本は不定時法で時間が進んでおり、毎日時間が変わってしまっては緻密（ちみつ）なダイヤグラムに従って運行する鉄道は成立しないので、鉄道は開業時から独自に定時法を採用していたようです。この時、既に東京では陸軍が定時法の正午に大砲を鳴らしていたようで「昼にドン」。ここから午前中半日で終わる事を、今では言わなくなった半ドンと言ったのではないかと思いますが、鉄道だけが先駆けていたわけではないが、鉄道は定時法によって動いていたのに対し、一般庶民は不定時法のもとで暮らしていたということになります。

この頃の日本人は非常に時間にルーズであったようで、幕末から明治維新以降に近代日本を建設するために来訪した外国人技術者にとって、ほぼ共通の悩みであったそうで、明治になって鉄道が開業した後も、あるアメリカ人宣教師は「日本人は列車に乗りそこなったとしても感情を荒げるでもなく平然と、おだやかで辛抱強く、数時間ものあいだ次の列車を待っている」と記（しる）している。今の日本だったらあり得ない光景です。

　当時の時間意識の欠如を示すエピソードとして、日本最大の私鉄であった日本鉄道は明治３６年（1903）年に就業規則を改正し、それまで社員が出勤時刻に1時間以上遅れた場合に遅刻扱いしていたのを、少しでも遅れたら遅刻扱いすることに改めています。１時間まで許容されていたのだから、列車がまともに走るわけがありません。ところが明治３９（1906）年に鉄道国有法が施行され、一部を除く全国の鉄道が国有鉄道ネットワークに統合され、全国を一括して管轄する国有鉄道になると、列車遅延の影響は全国に波及し、旅客列車の乗り継ぎや、長距離貨物列車の運行などに支障をもたらすため、必然的に時間を意識しなくてはならなくなりました。

我々が「当たり前だ」「ずっと昔からそうだ」「我々の伝統だ」と思っていることも、実は比較的新しい時期に海外から移入されたり、国策として推進された事により身に付いた物もあり、特に明治維新後や第二次世界大戦後に新たに導入されたものが多々あると思われます。

「暇」を否定し「勤勉さ」が称賛され、ゆとりを奪う現代の効率化社会が、人びとのどこかに不安や焦燥（しょうそう）を抱かせているのではないか。明治以来、機械・工場や会社・鉄道などの時間・規律に、我々が本当に豊かな時間を過ごせているのか、と改めて考えさせられました。

本日はこの後「ガバナー準備委員会の時間」がありますが、今年度はガバナーノミニー年度でもあるので、この場をお借りして地区大会への参加を今一度お願いしつつ、会長の時間を終わります。

10月18日の催し

**【ロータリー情報②】**

ロータリー情報小委員　中瀬　和隆

**ロータリーの歴史について**

本日は、今年度第2回目の「ロータリー情報」の卓話を務めさせていただきます。すでに皆様には、良くお聞きなっている基本の基本だとは思いますが、新しく入会された会員の皆様とともに、再確認の意味でお付き合いをいただきたいと思います。

まずは、**ロータリーの歴史**からですが、ロータリアンとして、この人の名前だけは憶えておかなければならないのが、**ポール・ハリス**、**ロータリーの創始者**です。**1905年2月23日**、彼は**3人**の友と**シカゴ**の中心街の友人の事務所で集会を開きました。これが、**世界で最初のロータリーの例会の始まり**です。彼らがロータリーを創った理由が、急速に発展する経済社会の中で**「騙す者より騙される方が悪い」**といった商業道徳の欠如した風潮を憂い、**「公正な取引」**ができる信頼できる相手を**親友関係**にまで発展させることのできる仲間を増やしたかったからだといわれています。また、**ロータリーの名前の由来**は、集会を各自の事務所を**「持ち回りで（rotary）」**開催したからとのことです。

**日本に最初のロータリークラブ**ができたのは、**1920年（大正9年）**です。のちに**「米山奨学金」**の名前の由来ともなる**米山梅吉が初代会長**、日本人初のロータリアン（在米中、ダラスロータリクラブに所属）であった**福島喜三次**(きそじ)**が初代幹事**を務めた世界で**855番目の東京ロータリークラブ**です。

**福島喜三次**といえば、ご存じのように佐賀県**有田町出身**ですが、**長崎県とも関係**があり、当時の**長崎商業学校**、現在の長崎市立長崎商業高等学校を首席で卒業し、東京高等商業学校、現在の一橋大学に進学し、ここでも首席で卒業し、三井物産に入社、その後、ニューヨーク支店を経て、ダラスにある系列会社の社長を勤めている時に、**日本人初のロータリアン**に推挙された方です。

日本で2番目は大阪RC、3番目は神戸RC、4番目は名古屋RC、5番目は京都RCです。日本にロータリーが誕生してから間もない3年後の1923年9月1日、**関東大震災**が起こりますが、地震発生の3日後には、国際ロータリーからお見舞いの電報とともに、世界17か国503クラブから89,000㌦という多額の義援金が東京ロータリークラブに届けられました。当時の電信事情、世界情勢などを考えれば、世界の東の果ての日本に、すごい速さで、けた外れの多額の義捐金が届けられたことに驚くばかりです。

しかし、第2次世界大戦の影響で1940年国際ロータリーを脱退、1949年に復帰するまでの間も例会は続けられ、敵国アメリカが発祥のロータリーへの風当たりを避けるために、例会場には「日の丸」掲揚し、「君が代」を斉唱するようになりました。現在、日本には、**約2,220**のクラブがあり、会員数は**8万2千人前後**で推移しています。世界には、**200**以上の国に、**約37,000**のクラブ、およそ**117万人**の会員がいます。また今までに日本人は、国際ロータリー会長に、**東ケ崎　潔**（1968-69年度）（とうがさき　きよし）、**向笠　廣次**（1982-83年度）（むかさ　ひろじ）、**田中　作次**（2012-13年度）（たなか　さくじ）の三人が輩出されております。**国際大会**も東京で2回、大阪で1回の**日本で3回**開催されています。世界のロータリーの出来事で注目されるのは、シカゴロータリーの設立2年目から**初の社会奉仕活動として公衆便所設置運動**が展開され、さらに2年後に**公園に公衆便所が設置**されたことです。今でこそ、ロータリーは奉仕団体として認識されていますが、当時は**「正当な取引」**を目的とする職業人の集まりの色合いが濃く、社会奉仕活動を始めたのは**大きな岐路**であったように思います。

ロータリー財団の基となった**「ロータリー基金」**　は1917年に設立され、**「ロータリー財団の父」**といわれている**アーチ・クランフ**がクラブからもらう記念品を辞退して、そのお金をもとにみんなに寄付を呼び掛けたことに始まります。

ところでロータリーに女性会員が認められたのは1989年、たった33年前のことです。今でも、女性会員は世界では**約25％**、日本では、まだ**約7％**です。わが大村ロータリークラブにおいては、女性会員の比率が**約10％**で、日本の平均を上回ってはいますが、今は女性が会長になり、ガバナーになり、RI会長になる時代です。大村ロータリークラブにおいても、世界水準まで、女性会員を増やそうではありませんか。

◆◆◆本日のプログラム◆◆◆　　　　　　　　　 　 　◆◆◆次週(11/1)の予定◆◆◆

新入会員卓話(西村啓吾君)、地区事業参加報告(芦塚義幸君)　 誕生日のお祝い、ロータリー財団委員会卓話

10月18日の催し

【四つのテスト唱和】佐藤　和也君

【例会皆勤賞(7~9月)の発表】

　石坂　和彦君　梅澤　成朗君　木戸川　繭子君

　小又　三正君　田原　範隆君　中島　悟君

　西村　啓吾君　原口　典子君　俣野　正仁君

【ロータリー情報②】中瀬　和隆君

【ガバナー準備委員会の時間】森地区幹事予定者

【出席率発表】木戸川　繭子君

【ニコニコBOX】片岡　敏明君

≪ゲスト・ビジターのご紹介≫　該当なし

≪会員数≫ 42名　出席者数 32名　出席率88.8％

出席率(10/4)89.1%

≪欠席者≫ 生野君　太田君　烏山君　為永君

宮本君

≪免除者≫ 荒木君　竹房君　西川君　野島君

　森本英君　山田君

**幹　事　報　告**

■　行事予定

【クラブ】

・10/27(木)18：30～歴代会長会＠杏

・10/29(土)13：00～RLI事前研修会＠ZOOM

・11/12(土)、13(日)大村RC五島1泊2日の旅＠福江島

【地　区】

・11/13(日)13：00～16：30 ロータリー財団セミナー＠龍登園(佐賀)

・11/19(土)～22(火)第51回ロータリー研究会＠神戸

・11/26(土)地区大会＠佐賀市文化会館(佐賀)

・11/27(日)地区大会ゴルフ大会＠フジカントリークラブ(佐賀)

■　例会変更案内　該当なし

■　来　信

≪ＲＩ/日本事務局より≫

・コーディネーターニュース2022年11月号

・END POLIO NOWニュースレター2022年10月

≪地区/各ＲＣより≫ 該当なし

■　印刷物拝受　該当なし

■　他団体よりの案内 該当なし

■　その他

・**10月28日(金) 地区大会登録料**をご指定の口座より申し受けます。口座残高のご確認を宜しくお願い致します。

≪クラブ広報小委員長　梅澤　成朗≫

**四つのテスト**

**1．真実かどうか　　3．好意と友情を深めるか**

**2．みんなに公平か　4．みんなのためになるかどうか**

言行はこれに照らしてから

**ニコニコBOX（10/18）**

**小又君・森君：** 出席皆勤の皆さんクラブ運営にご協力ありがとうございます。引き続き皆勤でお願いします。中瀬君ロータリー情報の時間よろしくお願いします。ガバナー準備委員会の皆さん本日はよろしくお願い致します。会員の皆さん全員で石坂ガバナーを盛り上げていきましょう。**3**

**石坂君：**誕生日のお祝い有り難うございました。皆勤賞も有り難うございます。**3**

**大塚君・髙瀬君：**皆勤賞の皆様、誠におめでとうございます。ガバナー準備委員会そしてロータリー情報中瀬君よろしくお願いします。**3**

**片岡君：**10/11と11/1欠席お詫び。**1**

**木戸川君・田原君：**皆勤賞を頂きありがとうございました。**2**

**小又君：**大変恐縮ですが皆勤賞ありがとうございます。**1**

**鶴田君：**皆勤賞受賞された皆様、おめでとうございます。ロータリー情報中瀬君よろしくお願いします。**1**

**渡海君：**中瀬君本日の「ロータリー情報の時間」よろしくお願いします。**1**

**中島君：**皆勤賞をいただきありがとうございます。**2**

**俣野君：**県認知症部会出席の為早退させて頂きます。**1**

**渡邉君：**皆勤賞受賞の皆様、おめでとうございます。今後も楽しい企画盛沢山でお送りします。親睦小委員会にご期待下さい。**1**

**小計19,000円　合計291,000円**

**お願い**

**例会の欠席届につきましては、例会前日の正午までにご連絡頂きますようご協力をお願い致します。**

